



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 *SGH*通信 2020

No. 13 (令和2年8月21日発行)

SGH クラブ研究班・フランス語班 マダガスカルとのリモート交流スタート!!



7月13日(月)、本校のOBで、NPO法人エコロジーオンライン理事長の**上岡裕先生**と、現地で支援活動されている**浅川日出男先生**による、初めてのアフリカ・マダガスカルからのオンライン講座が開催されました。佐野高校 SGH クラブ国内研究班・フランス語班の生徒約 25 名が参加して、マダガスカルの現状と日本の支援活動についてお二人からレクチャーを受け、活発に質問しました。



☆ 参加した生徒たちから講師の先生方への活発な質疑応答の様子です！



☆ SGH クラブ国内研究班とフランス語班の生徒たちの感想です！

<p>(2-1 岩地 優) 今回のマダガスカルからの講話から得た知識や、マダガスカルが現在抱えている問題点を踏まえて、今後の研究に生かし、国際問題の解決にも使っていきたいと思います。</p>
<p>(2-1 岡田 萌花) マダガスカルの位置や国旗などの簡単なことは知っていましたが、向こうの暮らしぶり、教育制度、インフラ整備など、実際にそこで暮らさないと分からないことを知ることができ、貴重な経験になりました。私は今後、減災社会について調べていくので、マダガスカルの状況と比較するなどして、この講話を有効に活用していきたいです。</p>
<p>(2-1 津久井 友貴) マダガスカルの気候や暮らしぶり、文化について多くの面からアプローチしてお話をいただき、日本との色々な点での差異に驚きました。長年マダガスカルに在住しているからこそ知っている情報もお話いただき、貴重な経験ができました。個人的にはマダガスカルの交通の不便さは優先的に解決すべき問題なのではないかと思いました。マダガスカルの問題点と日本の問題点を比較し、今後の研究に役立つ点を見つけていきたいです。</p>
<p>(2-2 赤塚 真理) マダガスカルについて詳しく知ることができました。マダガスカルは自然が豊かで美しい国だということは知っていましたが、寒さが厳しかったり、停電が頻繁に起きるということは初めて知りました。楽しいお話をありがとうございました。</p>
<p>(2-3 猪瀬 遙大) 先日の浅川先生のお話ではマダガスカルのことをたくさん教えていただき色々なことを知ることができました。また、現地に在住の方ならではのお話も聞くことができとても充実した時間になりました。</p>
<p>(2-4 青山 怜慈) 今回の講義では、マダガスカルの文化、気候、人々の生活など、様々な情報を知ることができ、とても勉強になりました。特に現地の食生活について興味が湧きました。今回学んだことを今後の研究に役立てて行けたら良いと思います。</p>
<p>(2-4 大山 時生) 今回の話を聞いて、マダガスカルの人々の生活を色々知ることができました。特に、停電や断水が頻繁に起きるということには驚かされました。</p>
<p>(2-4 亀田 晃聖) 今回の講話でマダガスカルについての様々なことを知ることができ、またそこに長く住んでいるからこそ分かる問題点などを知ることができました。今回の貴重な体験を課題研究に活かしていきたいと思います。</p>
<p>(1-3 慶野 正汰) 今回、浅川先生のお話を聞いて、改めてマダガスカルの魅力について学ぶことができました。今後の研究に生かせるよう努力していきたいです。</p>
<p>(1-3 秋野 仁美) 以前、アフリカについて私が聞いたことを、実際に質問してみました。やはり、実際に問題になっている事だと分かり、大変ためになりました。</p>
<p>(1-3 桜沢 昊英) 今回の講話ではマダガスカルについての自然や食生活など、様々な分野についての生の声を聞くことが出来てとても興味深かったです。日本とマダガスカルを繋げて研究を進めていきたいと思いました。</p>
<p>(1-3 中田 脩太) 今回のマダガスカルの講話で、文化や気候など様々な事について知ることができました。この知識を研究に活かしていこうと思いました。</p>